

作成年月日	令和2年12月14日
作成部局	企画県民部防災企画局
課室名	復興支援課

「減災月間」事業の実施等

阪神・淡路大震災の経験と教訓を忘れることなく、安全で安心な社会づくりを推進するため、1月の「減災月間」を中心に、関連事業を県内各地で実施する。

1 「減災月間」事業の実施

資料1

県民、NPO、各種機関・団体等が、ひょうご安全の日の趣旨を踏まえ、1月を中心に県内各地で様々な取組みを実施する。

<主な事業>

- (1) 国際復興フォーラム2021「複合災害からの復興：自然災害と COVID-19 パンデミックへの取り組みとより良い復興 (Build Back Better) のための実践と教訓」の開催 (別紙1)

ガバナンス、計画立案、資金調達、包摂などの主要分野に関し、過去の復興の経験から学んだ教訓をどのようにして現在の COVID-19 パンデミック下での復興に活かしていけるかについて議論する。

○日時：令和3年1月22日(金) 14:00～17:30

○場所：神戸ポートピアホテル(主催者のみ)

※一般参加者にはライブ配信を実施

- (2) 国際防災・人道支援フォーラム2021「新型コロナ共存時代の災害 対応ニューノーマル ～新たな課題とその対応～」の開催 (別紙2)

新型コロナウイルス感染症対応優等生の国々の対応を学ぶとともに、新型コロナウイルス感染症蔓延時の大規模な自然災害発生という複合災害に対する課題や対応方策について考え、自然災害多発国日本の知見として国内外に広く発信する。

○日時：令和3年1月26日(火) 13:30～16:30

○場所：神戸ポートピアホテル「偕楽の間」(神戸市)

※ライブ配信も実施

<参考資料>

「減災月間」事業一覧

資料2

2 「地域のつどい」の実施

令和3年1月17日を中心に、「ひょうご安全の日 地域のつどい」を新型コロナウイルス感染防止対策を徹底のうえ、県内各地域(各県民局・県民センター単位)で実施する。

<参考資料>

「地域のつどい」一覧

資料3

「減災月間」事業の実施

ひょうご安全の日推進県民会議（会長：知事）では、1月を「減災月間」と定め、県・市町・県民等に対して、ひょうご安全の日の趣旨を踏まえた事業の実施を呼びかけています。

ポスト震災 25 年の最初の年となる令和 3 年 1 月においても、県民、NPO、各種機関・団体等が県内各地で様々な取組みを実施します。

（1）事業内容別一覧

区分	事業数	主な事業
追悼行事	11	ひょうご安全の日のつどい、阪神淡路大震災 1.17 のつどい
シンポジウム	7	国際復興フォーラム 2021、国際防災・人道支援フォーラム 2021
講演会	8	阪神・淡路大震災 26 年メモリアル集会、オンライン津波セミナー
防災学習	18	兵庫県立大学公開講座「減災・未来カフェ」、災害メモリアルアクション KOBE2021
防災啓発	12	117KOBE ぼうさいマスタープロジェクト、イザ！美かえる大キャラバン！2021
防災展示	8	震災 26 年・経験と教訓の継承・リメンバー神戸プロジェクト、多文化共生・コロナ禍での新しい BOSAI
防災訓練	18	地域防災訓練、シェイクアウト訓練、1.17 情報伝達訓練
コンサート	4	第 15 回震災を忘れないメモリアルコンサート、PRAY FROM KOBE ～明日につなげる“ミニ合唱祭”～
計	86	

（2）開催地域別一覧

神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	
33	8	6	13	3	
中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
12	2	2	3	4	86

（3）主な事業

実施日	事業名	実施場所	実施主体	別紙
1月17日(日)	ひょうご安全の日のつどい	HAT神戸 等	ひょうご安全の日推進県民会議	—
1月22日(金)	国際復興フォーラム 2021	神戸ポートピアホテル(主催者のみ) ※一般参加者にはライブ配信を実施	国際復興支援プラットフォーム (IRP) 等	1
1月26日(火)	国際防災・人道支援フォーラム 2021	神戸ポートピアホテル ※ライブ配信も実施	同フォーラム実行委員会	2

国際復興フォーラム2021「複合災害からの復興：自然災害とCOVID-19パンデミックへの取り組みとより良い復興（Build Back Better）のための実践と教訓」の開催

国際復興支援プラットフォーム（IRP）事務局は、国内外からハイレベル政策決定者や実務家、著名な専門家等を兵庫県に招き、毎年1月、国際復興フォーラムを開催していますが、今年度は「複合災害からの復興：自然災害とCOVID-19パンデミックへの取り組みとより良い復興（Build Back Better）のための実践と教訓」をテーマに、下記により開催します。

記

- 1 日 時 令和3（2021）年1月22日（金）14:00～17:30
- 2 場 所 神戸ポートピアホテル（神戸市中央区港島中町6-10-1）
※一般参加者にはライブ配信を実施
- 3 内 容
 - 14:00～14:25 開会あいさつ ジャレッド メルカダンテ IRP 運営委員会議長 他
 - 14:25～15:20 特別講演（河田 恵昭 人と防災未来センター長
ステファン・ハレガッテ 世界銀行 首席エコノミスト）
 - 15:20～16:20 専門家・有識者によるパネルディスカッション1
「複合災害からの持続可能な復興のための実践と教訓」
 - 16:25～17:20 専門家・有識者によるパネルディスカッション2
「COVID-19パンデミック下でのより良い、環境に優しく、レジリエントな復興」
 - 17:20～17:30 閉会 IRP 運営委員会共同議長（内閣府）
- 4 参加者 国連開発計画(UNDP)、世界銀行(World Bank)等の国連・国際機関、国内外の防災・復興関係者（政府、学識者等）、一般県民
- 5 主催 国際復興支援プラットフォーム(IRP)、内閣府、兵庫県、アジア防災センター(ADRC)、国連防災機関(UNDRR)
- 6 後援 外務省（予定）、NHK 神戸放送局
- 7 使用言語 日英同時通訳
- 8 申込方法 別添チラシ裏面に記載の2次元バーコードまたは以下のリンクより登録フォームにご記入ください。
(申込先ウェブサイト：<https://bit.ly/3fFVDqn>)

〈問い合わせ先〉 国際復興支援プラットフォーム（IRP）事務局 TEL078-262-6041



2021
JANUARY 22

14:00-17:30

Live Streaming Online

生配信

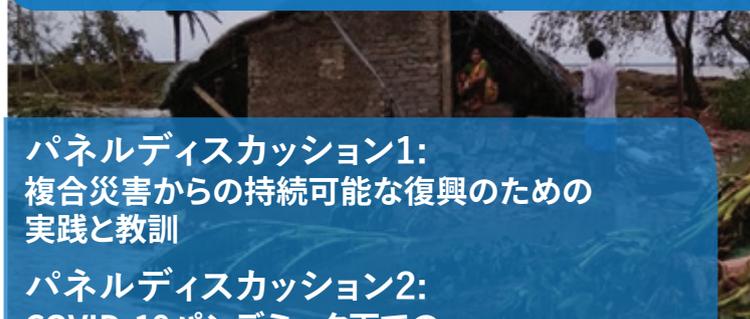
International Recovery Forum 2021

国際復興フォーラム2021



複合災害からの復興： 自然災害とCOVID-19パンデミックへの取り組みと より良い復興 (Build Back Better) のための実践と教訓

Building Back Better from Compound Disasters: Practical Cases and
Lessons for Recovery from Natural Hazards and COVID-19



パネルディスカッション1：
複合災害からの持続可能な復興のための
実践と教訓

パネルディスカッション2：
COVID-19パンデミック下での
より良い、環境に優しく、レジリエントな復興



ORGANIZERS:

国際復興支援プラットフォーム (IRP), 内閣府, 兵庫県,
アジア防災センター (ADRC), 国連防災機関 (UNDRR)



SUPPORTED BY:

外務省 (予定)
NHK神戸放送局

参加申し込み方法は、こちらの2次元バーコードを
読み込むか、以下のリンクにアクセスし、
登録フォームにご記入ください。



申込先ウェブサイト: <https://bit.ly/3fFVDqN>

IRP Steering Committee Members





BACKGROUND:

世界中で猛威を振るうCOVID-19パンデミックは、間違いなく社会や経済の様々な分野に影響を与えています。この前例のない社会経済的な影響は、開発の進展を妨げ、持続可能な開発目標の達成を脅かしています。同時に、多くの国が自然災害とCOVID-19パンデミックの複合災害の危機に晒されています。

そこで国際復興フォーラム2021では、ガバナンス、計画立案、資金調達、包摂などの主要分野に関し、過去の復興の経験から学んだ教訓をどのようにして現在のCOVID-19パンデミック下での復興に活かしていけるかを議論します。また、「COVID-19 Recovery Policy Brief」の内容を踏まえて、パネリストは、COVID-19パンデミックと複合災害からの「Build Back Better (より良い復興)」をめぐる新たな課題やそこから生まれる機会について検討します。

オンライン国際復興フォーラム2021は、以下の目的で開催されます。

1. 社会的及び経済的な影響を評価し、自然災害とCOVID-19パンデミックからの持続可能な復興における早期の教訓を特定する

パネルディスカッション1では、COVID-19パンデミックと自然災害により最も影響を受けた国の復興からの早期の経験と教訓について議論し、社会的及び経済的な影響の評価や持続可能な復興への計画立案と資金調達についての洞察を提供します。また、脆弱な立場にある人々に関する主要な問題について議論し、自然災害とCOVID-19パンデミックとの複合災害の危機にどのように取り組むのかについても検討します。

2. COVID-19パンデミックと複合災害からのより良い、環境に優しく、レジリエントな復興への優先事項と機会を検討する

パネルディスカッション2では、COVID-19パンデミックと自然災害からのより良い、環境に優しく、レジリエントな復興のための戦略について議論します。また復興のための喫緊のニーズや目標と、長期的なレジリエンスのための優先事項とバランスを保ちつつ、環境に優しくレジリエントな復興に取り掛かるための制度的、資金的、および実施上の支援についても検討します。スピーカーは、「Build Back Better (より良い復興)」への優先事項と機会を特定するため、現在及び過去の復興の経験からの教訓について議論します。



AGENDA:

14:00 - 14:25	開会	15:20 - 16:20	パネルディスカッション1
	開会挨拶 ジャレッド・メルカダンテ IRP運営委員会議長(世界銀行 防災専門官) 主催者挨拶 井戸 敏三 兵庫県 知事* 内閣府*		複合災害からの持続可能な復興のための実践と教訓
14:25 - 15:20	特別講演	16:25-17:20	パネルディスカッション2
	河田 恵昭 人と防災未来センター長 ステファン・ハレガッテ 世界銀行 首席エコノミスト		COVID-19パンデミック下でのより良い、環境に優しく、レジリエントな復興
		17:20-17:30	閉会
			IRP運営委員会共同議長(内閣府)

* 予定

使用言語
日本語・英語(日英同時通訳有り)



REGISTRATION:

参加申し込み方法は、こちらの2次元バーコードを読み込むか、以下のリンクにアクセスし、登録フォームにご記入ください。

申込先ウェブサイト:<https://bit.ly/3fFVDqn>

国際復興フォーラムについてのお問い合わせは、下記のIRP事務局メールアドレスまでご連絡ください。

IRP事務局メールアドレス:[irpforum\(at\)recoveryplatform.org](mailto:irpforum(at)recoveryplatform.org)

IRPウェブサイト:<https://www.recoveryplatform.org/>

電話番号: 078-262-6041



ひょうご安全の日推進事業

「国際防災・人道支援フォーラム2021」の開催

国際防災・人道支援フォーラム実行委員会は、毎年1月、国連等の国際機関や国内外の政府関係者等を兵庫県に招き、国際防災・人道支援フォーラムを開催しています。

今年度は「新型コロナ共存時代の災害対応ニューノーマル ～新たな課題とその対応～」をテーマに、下記により開催します。

- 1 日 時 令和3年(2021)年1月26日(火) 13:30～16:30
- 2 場 所 神戸ポートピアホテル「偕楽の間」(神戸市中央区港島中町6-10-1)
※ライブ配信も実施
- 3 内 容
 - (1) 開会あいさつ 五百旗頭 真 国際防災・人道支援協議会(DRA)会長 他
 - (2) 基調講演
 - ・講演1 野崎 慎仁郎 WHO 西太平洋地域事務局 事務局長室管理官(法務・危機管理担当) ※オンライン参加
「アジア太平洋地域のCOVID-19の現状と今後の展望」
 - ・講演2 岩田 孝仁 静岡大学 防災総合センター特任教授
「“想像力の欠如に陥らない防災” 新型コロナ共存時代の自然災害への対応」〈行政の視点から〉
 - (3) パネルディスカッション「新型コロナ共存時代の災害対応ニューノーマル」
 - ・[ファシリテーター] 河田 恵昭 人と防災未来センター長
 - ・[パネリスト(※岩田 孝仁教授に加えて)]
 - ① 中山 伸一 兵庫県災害医療センター長 (災害医療の視点)
 - ② 阪本 真由美 兵庫県立大学大学院減災復興政策科教授 (災害ボランティアの視点)
 - ③ 高岡 誠子 人と防災未来センター研究員 (避難所運営の視点)
 - (4) 総括・閉会
- 4 参加者 会場70名程度(予定) ※3密を避けるため、例年の1/3
〔国際防災・人道支援協議会(DRA)構成機関関係者、内外の防災・減災・復興関係者(政府、地方政府、学識者、NGO等)、一般県民〕
- 5 主催 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会
- 6 後援 朝日新聞社、神戸新聞社
- 7 使用言語 日英同時通訳
- 8 参加・視聴方法 別添チラシのとおり

〈問い合わせ先〉 人と防災未来センター普及課 Tel078-262-5066

「国際防災・人道支援フォーラム 2021」

国際防災・人道支援フォーラム実行委員会は、毎年1月、国連等の国際機関や国内外の政府関係者等を講演者として招き、国際防災・人道支援フォーラムを開催しています。

コロナ禍の今年度は、WHO 関係者等を論者に招き、新型コロナウイルス感染症対応優等生の国々の対応を学ぶとともに、同感染症蔓延時の大規模な自然災害発生という複合災害に対する課題や対応方策について考え、自然災害多発国日本の知見として国内外に広く発信するフォーラムを実施します。

1 日 時 令和3年(2021)年1月26日(火) 13:30~16:30

2 場 所 神戸ポートピアホテル「偕楽の間」(神戸市中央区港島中町6-10-1)

3 テーマ 新型コロナ共存時代の災害対応ニューノーマル ~新たな課題とその対応~

4 内 容

(1) 開会あいさつ 五百旗頭 真 国際防災・人道支援協議会(DRA)会長 他

(2) 基調講演

・講演1 野崎 慎仁郎 WHO 西太平洋地域事務局事務局長室管理官(法務・危機管理担当)
「アジア太平洋地域の COVID-19 の現状と今後の展望」

・講演2 岩田 孝仁 静岡大学 防災総合センター特任教授
「想像力の欠如に陥らない防災」新型コロナ共存時代の自然災害への対応」

(3) パネルディスカッション「新型コロナ共存時代の災害対応ニューノーマル」

・[ファシリテーター] 河田 恵昭 人と防災未来センター長

・[パネリスト(※岩田 孝仁教授に加えて)]

① 中山 伸一 兵庫県災害医療センター長 (災害医療の視点)

② 阪本 真由美 兵庫県立大学大学院減災復興政策科教授 (災害ボランティアの視点)

③ 高岡 誠子 人と防災未来センター研究員 (避難所運営の視点)

(4) 総括・閉会

5 参加定員 会場参加70名 [国際防災・人道支援協議会(DRA)構成機関関係者、内外の防災・減災・
※別途YouTubeでの視聴可能 復興関係者(政府、地方政府、学識者、NGO等)、一般県民]

6 主 催 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会

7 後 援 朝日新聞社、神戸新聞社

8 使用言語 日英同時通訳

9 参加方法

(1) 会場での参加をご希望される場合

人と防災未来センターホームページからお申し込みください。

<https://www.dri.ne.jp/pickup/forum/forumentry/>

※ 定員70人に達し次第、募集を締め切ります。

(2) YouTubeでの視聴をご希望される場合

当日、人と防災未来センターホームページから、YouTubeでの同時配信をご覧いただくことができます。

<https://www.dri.ne.jp/pickup/forum/forum2021/>

※ 1月23日(土)から資料をダウンロードできます。



感染症対策を行った避難所(人吉市)



会場参加申込フォーム



YouTube同時配信視聴

新型コロナウイルス感染症の拡大により、プログラム変更、会場参加の中止等の可能性があります。予めご了承ください

(問い合わせ先) 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会(人と防災未来センター普及課)

TEL 078-262-5066

FAX 078-262-5082

登壇者 プロフィール

【基調講演 1】野崎 慎仁郎 WHO 西太平洋地域事務局 事務局長室管理官（法務・危機管理担当）



昭和 60 年に二松学舎大学文学部卒業後、日本赤十字社に入社。外務省欧亜局ロシア課旧ソ連支援室にて旧ソ連に対する保健医療分野の人道支援を担当。2009 年 2 月、長崎大学国際連携研究戦略本部副本部長、教授に就任。その後、厚生労働省の命を受け、2011 年 7 月から WHO に出向。世界保健医療人材連合にて、議長（厚生労働省国際保健担当審議官）のリエゾンとして 4 年の勤務の後、2015 年 7 月から神戸センターにて上級顧問官として同センターの改革に取り組む。2019 年 5 月から現職。

【基調講演 2】岩田 孝仁 静岡大学 防災総合センター特任教授



1979 年に静岡大学理学部地球科学科卒業、静岡県庁に入庁し一貫して防災・危機管理行政を担当。危機管理監兼危機管理部長を最後に退職し、2015 年から静岡大学教授、2017 年から防災総合センター長、2020 年から現職。日本災害情報学会理事、日本災害復興学会理事、中央防災会議の専門調査会や内閣府の火山防災エキスパート、内閣府、消防庁など政府の各種委員、静岡県防災会議委員などを務める。2020 年 9 月に防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞。専門は防災学・防災行政学。

【パネリスト・コーディネーター】河田恵昭 国際防災・人道支援協議会（DRA）会長代理



関西大学社会安全学部特別任命教授（チェアプロフェッサー）・社会安全研究センター長。工学博士。専門は防災・減災・縮災。現在、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長（兼務）のほか、京大防災研究所長を歴任。京都大学名誉教授。2007 年国連 SASAKAWA 防災賞、09 年防災功労者内閣総理大臣表彰、10 年兵庫県社会賞受賞、14 年兵庫県功労者表彰、16 年土木学会功績賞、17 年アカデミア賞、18 年神戸新聞平和賞受賞。現在、中央防災会議防災対策実行会議委員。

【パネリスト】中山 伸一 兵庫県災害医療センター長・神戸赤十字病院副院長



1980 年神戸大学医学部、1989 年同大学院医学研究科卒業。米国クリーヴランドクリニック研究員、神戸大学病院救急部、同大学院災害・救急医学分野助教授、兵庫県災害医療センター副センター長を経て 2012 年から現職。国内外での災害対応の他、兵庫県新型コロナウイルス入院コーディネートセンターでも活動。日本 DMAT 研修の西日本総責任者。第 14 回アジア太平洋災害医学会、第 25 回日本災害医学会を神戸で開催。

【パネリスト】阪本 真由美 兵庫県立大学大学院 減災復興政策科教授



京都大学大学院情報学研究科博士後期課程修了。博士（情報学）。国際協力機構（JICA）、人と防災未来センター、名古屋大学減災連携研究センターを経て現職。ナショナル・レジリエンス（防災・減災）懇談会委員、内閣府地区防災計画アドバイザー、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）理事など。専門は、災害リスクコミュニケーション、防災教育、国際防災。

【パネリスト】高岡 誠子 人と防災未来センター 研究員



1998 年福井県立大学看護短期大学部、2017 年北里大学大学院看護学研究科卒業。大阪府立千里救命救急センター（現 大阪府済生会千里病院）、川口市立医療センターに看護師として勤務後、2018 年より現職。アルジェリア地震、ネパール地震、東日本大震災等、国内外における災害医療活動経験が豊富。2018 年 7 月豪雨では、日本災害医学会医療コーディネートサポートチームとして倉敷市、三原市で活動。2020 年「避難所開設での感染を防ぐための事前準備チェックリスト」をまとめた。

「減災月間」事業(全86事業)

資料 2

1 追悼行事(11事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	第26回兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)犠牲者追悼のつどい あなたの思いを灯してください～失った命の数をロウソクの灯火に込めて～	R3.1.16 ～1.17	昆陽池公園南広場 多目的グラウンド (伊丹市)	①ろうそくによる追悼行事 ・震災翌年より毎年実施している追悼行事。追悼とともにいかにして生きるかという開催テーマをもうけ、命の尊さ、減災への啓発、継承のテーマに沿ったメッセージをロウソクで絵にする ②パネル展示 ・ボランティア活動等の展示	ボランティア団体ユー・アイ・アソシエーション	阪神北
2	ひょうご安全の日のつどい	R3.1.17	HAT神戸ほか	震災の経験と教訓をいつまでも忘れることなく、安全・安心な社会づくりに向けて歩む決意を引き続き発信 ①1.17のつどい(追悼行事) ②1.17ひょうごメモリアルウォーク2021 ③交流ひろば・交流ステージ ④防災訓練 ⑤地域のつどい	ひょうご安全の日推進 県民会議 (TEL:078-362-4354)	神戸
3	阪神淡路大震災1.17のつどい	R3.1.17	東遊園地 (神戸市)	・竹灯籠で「1.17」の文字を描き、参加者に灯りをとんでもらい、5時46分、17時46分に震災犠牲者に対して黙祷 ・ボランティアや震災ご遺族、震災を経験していない若い人たちが集い、震災経験を次世代に伝えていく語り継ぎの場とする	阪神淡路大震災1.17の つどい実行委員会	神戸
4	本一震災黙とうの会	R3.1.17	神戸市立本山第一 小学校運動場	①震災黙とうの会 燭台作成(R3.1.10) ②震災黙とうの会(R3.1.17) ・震災発生時刻に行われる震災黙とうの会の運営支援 ・燭台組立、ロウソク配布(約200名分) ・黙とう号令、震災当時の本一避難所と共助の話 ・慰霊碑への献灯支援・片付け、非常食配布	日本ボーイスカウト神戸 第54団(本一防災コミュニ ティ)	神戸
5	犠牲者を追悼し震災をおもい起こす事業	R3.1.17	HAT神戸 なぎさ公園 (神戸市)	・1.17のつどい会場において、犠牲者への鎮魂の祈りと復興への想いをこめて、竹灯籠に灯り(LEDロウソク)を灯す ・東日本大震災から10年を迎える被災地に、共に頑張ろうという気持ちを伝えるため、東日本大震災が発生した午後2時46分に合わせて黙祷	神戸・心絆	神戸
6	西宮市犠牲者追悼行事	R3.1.17	西宮震災記念碑公園	・献花の無料配布等	西宮市秘書課 (TEL:0798-35-3437)	阪神南
7	1.17芦屋市祈りと誓い	R3.1.17	「阪神・淡路大震災 慰霊と復興のモ ニュメント」前 (「芦屋公園」内)	・記帳受付及び献花	芦屋市 福祉部生活援護課 (TEL:0797-38-2041)	阪神南
8	「1.17」メモリアルデーに係る防災教育	R3.1.17他	豊岡市内の幼稚 園、認定こども園、 小学校、中学校	・追悼集会 ・防災避難訓練 ・防災授業	豊岡市こども教育課 (TEL:0796-23-1111)	但馬
9	防災意識高揚のつどい	R3.1.17	復興拠点ゾーンコ ミュニティ住宅前広 場(淡路市)	・淡路市と連携した、災害を想定した避難訓練 ・淡路市によるハザードマップの説明会 ・ひょうご防災推進員による防災講義 ・鎮魂灯としてキャンドルを設置し、黙祷 ・鎮魂イベントとしてハンドベル、ラップ、和太鼓演奏 ・停電を想定した自家発電での炊き出し訓練	ウエストコーストぐんげ商 店街協同組合 (TEL:0799-85-0228)	淡路
10	「ひょうご安全の日」 淡路地域のつどい	R3.1.17	北淡震災記念公園	・主催者、遺族代表等による精霊流し ・犠牲者への黙祷 ・犠牲者への鎮魂の祈りと復興への想いを込めて、来場者と共に全員で合唱 ・主催者、遺族代表等による献花 ・ひょうご安全の日宣言の読み上げ	淡路県民局総務防災課 (TEL:0799-26-2017) 淡路市 株式会社ほくだん	淡路
11	フェニックス合唱団鎮魂の 譜	R3.1.17	北淡震災記念公園 慰霊碑前 (淡路市)	・阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震の犠牲者への鎮魂の祈りと復興への想いをこめて、来場者と共に全員で合唱 ・参加者に住宅耐震化のチラシを配布し、安全対策の実施を呼びかけ ・精霊流し、黙祷、ひょうご安全の日宣言の読み上げ	北淡震災記念公園フェ ニックス合唱団	淡路

2 シンポジウム(7事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	関西学院大学災害復興制度研究所 2021年復興・減災フォーラム Withコロナと災害—どう創るニューノーマル	R3.1.9 ～1.10	関西学院会館レセプションホール (兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号)	①全国被災地交流集会 円卓会議(R3.1.9) [テーマ]Withコロナと災害ボランティア—立ちすくむ社会から見出す新たなつながり— ②シンポジウム(R3.1.10) ・基調講演「Withコロナと災害—どう創るニューノーマル」 [講演者]藻谷 浩介(株式会社日本総合研究所 主席研究員) ・パネル討論「新たな社会の再生に向けて—現場からのメッセージ」 [パネリスト] 栗田 匡相(関西学院大学経済学部准教授・災害復興制度研究所運営委員) 西澤 真理子(株式会社リテラシー代表取締役) 麦倉 哲(岩手大学教育学部教授) 渡邊 格(鳥取県智頭町タルマーリー店主) [コーディネーター] 岡田 憲夫(京都大学名誉教授・関西学院大学災害復興制度研究所顧問)	関西学院大学 災害復興制度研究所 (TEL:0798-54-6996)	阪神南
2	神戸防災のつどい2021	①R3.1.17 ②R3.1.18	①神戸国際会館セミナーハウス、オンライン ②人と防災未来センター	①オンラインワークショップ ・防災関係団体フォーラム(講演・セミナー) ②シンポジウム	災害対策セミナー実行委員会	神戸
3	防災・減災シンポジウム(2021)～突然の大災害に備え、市民・地域コミュニティは何をするか～	R3.1.17	神戸国際会館(神戸市)	①基調講演「地域防災力向上にむけたコミュニティ支援のあり方」(仮) ・講師:磯打 千雅子氏(香川大学准教授) ②特別講演「東日本大震災から10年、兵庫県からの支援について」(仮) ・講師:長沼 俊幸氏(名取市関上中央町内会長) ③防災支援活動に関する話題提供 ・講師:さんた防災リーダーの会メンバー ④討論会	公益社団法人 日本技術士会近畿本部	神戸
4	国際復興フォーラム2021「複合災害からの復興:自然災害とCOVID-19パンデミックへの取り組みとより良い復興(Build Back Better)のための実践と教訓」	R3.1.22	神戸ポートピアホテル(主催者のみ) ※一般参加者にはライブ配信を実施	・国内外からのハイレベル政策決定者や実務家、著名な専門家等による、より良い復興等についての議論 [実施内容]特別講演、専門家・有識者によるパネルディスカッション①②	国際復興支援プラットフォーム(IRP)、内閣府、兵庫県、アジア防災センター(ADRC)、国連防災機関(UNDRR)	神戸
5	第23回兵庫県救急・災害医療フォーラム	R3.1.23	兵庫県医師会館2階大会議室、Web会議	・『避難所における新型コロナウイルス対策と心のケア』をメインテーマとしたフォーラムを実施 ・基調講演(2題) ①「避難所における感染対策の基本的事項」(長崎大学病院感染制御教育センター センター長 泉川 公一 氏) ②「災害時の避難所におけるこころのケア」(神戸赤十字病院 心療内科部長 村上 典子 氏)	一般社団法人兵庫県医師会	神戸
6	2020年度災害と障害者のつどい 新しい生活様式と災害時要配慮者支援～弱き者のいのちを守るしくみづくり～	R3.1.24	神戸市男女共同参画センター あすてつぶKOBE(神戸市)	①シンポジウム ・「これからの福祉避難所のあり方-新型コロナウイルスの流行を受けて-(仮)」 (熊本学園大学教授 花田 昌宣氏) ・「基幹福祉避難所における要配慮者支援のあり方」 (神戸市高齢福祉課長 吉村 千波氏) ・「県内自治体の福祉避難所に関するアンケート調査」 (神戸大学大学院工学研究科研究員 大西 一嘉氏) ②ディスカッション「新しい生活様式と災害時要配慮者支援」 (コーディネーター:木村 尚子氏(人と防災未来センター主任研究員))	特定非営利活動法人 兵庫障害者センター	神戸
7	国際防災・人道支援フォーラム2021	R3.1.26	神戸ポートピアホテル	・「新型コロナ共存時代の災害対応ニューノーマル～新たな課題とその対応」をテーマとしたフォーラムを実施 ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、国内外の実務者、有識者による災害対応の経験・知見などの発表・議論を通じ、新型コロナウイルス感染症対応優等生の国々の対応を学ぶとともに、新型コロナウイルス感染渦の中での大規模な自然災害発生という複合災害に対する課題や対応方針について考え、自然災害多発国日本の知見として国内外に広く発信	国際防災・人道支援フォーラム実行委員会 (TEL:078-262-5060[人と防災未来センター])	神戸

3 講演会(8事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	「ひょうご安全の日」 阪神北地域のつどい	R3.1.11	三田市総合福祉保健センター	・基調講演「(仮題)感染症に対応した避難所運営」 ・防災士会5団体によるパネルディスカッション ・防災士会5団体の活動内容・課題等に関するパネル展示	阪神北県民局 総務防災課 (TEL:0797-83-3124)	阪神北
2	第十六回競基弘賞授賞式 及び記念講演会	R3.1.15	ふたば学舎(神戸市)	・「競基弘賞※」の授与式及び記念講演会 ※阪神・淡路大震災で亡くなった若き研究者(当時神戸大大学院生)にちなんで設立された賞 ・受賞者による最新研究開発の内容・活動報告等、実災害の現場でどのように役に立つのかを交えた講演 ・災害対応ロボット・災害対応システムに関するシンポジウムを同時開催	(特非)国際レスキューシステム研究機構	神戸
3	「ひょうご安全の日」 中播磨のつどい	R3.1.16	福崎町エルデホール	・「コロナ禍における避難所運営を考える」 講師:兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授	中播磨県民センター (TEL:079-281-9040) 福崎町 (TEL:0790-22-0560)	中播磨
4	阪神・淡路大震災26年メモリアル集会	R3.1.17	神戸市勤労会館大ホール (神戸市)	①討論会 ・被災者生活再建支援法の制度経過と課題、災害援護資金、借り上げ復興公営住宅等の現状と課題 ②報告会 ・東日本大震災被災地の住民団体から、震災10年の経験と教訓、現状の報告 ③記念講演 ・新型コロナウイルス感染拡大のもとでの災害対策	阪神・淡路大震災救援・復興兵庫県民会議	神戸
5	自主防災福祉研修会	R3.1.17	小野市伝統産業会館	・自主防災組織と民生委員を対象に防災講話「ウィズコロナ時代の防災&地域力」	小野市防災グループ (TEL:0794-63-3387)	北播磨
6	加古川市職員防災研修会	R3.1.18	加古川市立青少年女性センター	・職員の防災意識の向上を目的とした研修会	加古川市危機管理課 (TEL:079-427-9717)	東播磨
7	防災フェア・防災講演会 誰も取り残さない!「福祉」×「防災」×「コミュニティ」	R3.1.24	東り いたみホール	①講演会 ・湯井氏による防災講演会 ②手話講話 災害時の情報伝達実践 ③防災ワークショップ ・家具転倒防止展示コーナー ・超簡単トイレ作成コーナー ・親子防災クイズコーナー ・防災アプリ紹介コーナー ④防災なんでも相談会	伊丹防災士の会	阪神北
8	オンライン津波セミナー	R3.1.26	オンライン	・津波意識啓発を目的とした講演会 [講演者]総務省消防庁消防研究センター 技術研究部地震等災害研究室 主任研究官 大津 暢人氏 [講演タイトル]コミュニティにおける減災空間設計	一般財団法人アジア防災センター (TEL:078-262-5540)	神戸

4 防災学習(18事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	「1.17を忘れないたかさご集会」等	①R2.11.1 ②R3.1.17 ③R2.8~ R3.3	中筋小学校 北浜公民館 市内の自治会館等	①市総合防災訓練にブース出展(R2.11.1) ・阪神淡路大震災等のパネル展示 ・家具の転落防止等パンフレット配布 ②防災講習会・救急救命訓練(R3.1.17) ・阪神淡路大震災等のパネル展示 ・家具の転落防止等パンフレット配布 ③各自治会等(10ヶ所目途)での講習会(R2.8~R3.3)	防災リーダーたかさご	東播磨

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
2	未就学児とその教育者に伝える震災の教訓の発信	R2.12.1 ～R3.3.31	神戸市北区内ホール、宝塚市内保育園(神戸市、宝塚市)	①子ども参加型防災ミュージカル ・「三匹のこぶた」を題材に、子どもたちが子ぶたになりきってかがんで頭を守ったり、頭巾で口をふさいだりして身を守る演技をすることで、防災の教訓を体感してもらう。 ・南海トラフ地震等の災害を想定した内容で、命の守り方を歌や踊りを通して学ぶ ②保育士・教職員向け講演会 ・東日本大震災で得た教訓・教訓をもとに、園児の命を守る防災の大切さを伝える	一般社団法人ハーク兵庫支部	神戸
3	被災者・市民の生活相談・炊き出しと防災の取り組み	R2.12.1 ～R3.3.31	北須磨文化センター、HAT脇浜、青木文化センター、ベルデ名谷市住集会所の4カ所(神戸市)	・防災学習会の開催(自然災害への備え、避難等) ・災害復興公営住宅等に配布する広報誌において、防災コーナーを新設 ・健康、福祉等に関する専門家による無料巡回相談を実施 ・事務所にて無料電話相談と来所による相談活動を実施	ひょうご福祉ネットワーク	神戸
4	キッズ防災検定	R2.12.1 ～R3.3.31	兵庫県内の学校	・阪神・淡路大震災の経験と教訓を活かし、日々の生活の中で、防災に対する意識を楽しみながら高めることが出来る防災検定を実施 ・県下の小学校に告知し、申し込み校に問題と解答を郵送、合格者には認定証を発行	特定非営利活動法人検定協議会	神戸
5	養田町づくり委員会 世代間交流、防災・減災フェスティバル並びに防災学習	R2.12.13 R3.2(予定)	加古川市尾上町養田公会堂、神戸港震災メモリアルパーク	①防災訓練 ・資機材の点検及び使用方法等の確認 ②土壌作成訓練 ③非常食の紹介(加古川市危機管理課より非常食の提供) ④心肺蘇生法及びAEDの取り扱い訓練 ⑤神戸港震災メモリアルパークの視察(災害の実態と防災の重要性を認識)	養田町づくり委員会	東播磨
6	防災学習	R3.1.7	城東児童クラブ	・児童への防災学習	丹波篠山市市民安全課(TEL:079-552-1116)	丹波
7	災害メモリアルアクション KOBE2021	R3.1.9	人と防災未来センター西館	・大学・高校生が「阪神・淡路大震災」の『教訓を活かす』人材となるべく、震災体験者等との「体験・取材・交流」を通じ「神戸のことば」を集める ・それを周囲に「伝えて」、減災の取り組みの輪を「広げる」活動を行い、その成果をチームで発表する	主催：人と防災未来センター、京都大学防災研究所(TEL:078-262-5060[人と防災未来センター])	神戸
8	“もしもの”時を考える一家族で作ろう!防災計画一	R2.1.9	ピピアめふ(会議室AB)	・日本で発生する自然災害、兵庫県における自然災害の紹介 ・家族単位での防災マップの作成、避難場所と連絡方法の話し合い ・ライフライン停止時を想定し、非常時に役立つアイテムの紹介、体験 ・家族単位でもしもの時に持ち出すものを考える ・防災グッズの体感 ・DVD、新ひょうご防災アクションを用いて、命の守り方を学ぶ ・活動内容をまとめ「〇〇家の防災BOOK」として製本 ・ペットボトル詰飲料水の胴部に感想を書き込む	東洋食品工業短期大学	阪神北
9	別府西小学校防災教室	R3.1.12 ～1.14	加古川市立別府西小学校	①防災訓練 ・段ボールトイレ作成 ・防災なぞときゲーム(地震・豪雨災害から身を守れ) ②防災講話 ・「災害の危険性と避難行動について」	加古川市立別府西小学校 NPO兵庫県防災士会	東播磨
10	1.17震災メモリアル行事「阪神・淡路大震災を忘れない～21世紀を担う私たちの使命～」兼 ひょうごユース防災・減災ワークショップ	R3.1.15	兵庫県立舞子高等学校(神戸市)	①講演・追悼演奏 ・「生かされて生きる～震災を語り継ぐ～」 [講師] 齋藤 幸男氏(元石巻西高等学校長) asari氏(シンガーソングライター) 雁部 那由多氏(「16歳の語り部」著者) ②分科会 ・神戸市、大阪ガス、関西国際大学、自衛隊等による防災講演、講話、発表 ③非常食体験 ④ワークショップ「災害初動期に向けての人材育成」	ひょうごユース防災・減災ワークショップ実行委員会	神戸
11	天満小学校防災教室	R3.1.15	稲美町立天満小学校	①防災訓練 ・段ボールトイレ作成 ・防災なぞときゲーム(地震・豪雨災害から身を守れ) ②防災講話 ・「災害の危険性と避難行動について」	稲美町立天満小学校 NPO兵庫県防災士会	東播磨

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
12	兵庫県立大学公開講座 減災・未来カフェ	R3.1.17	兵庫県立大学 神戸防災キャンパス	・防災・復興の担い手の育て方や活躍できる場づくり、組織間の連携などについて、阪神・淡路大震災が発生した1月17日にサイエンス・カフェ形式で講師との対話を通して考える 【講師】：室崎益輝(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 研究科長)	兵庫県立大学 神戸防災キャンパス 総務学務課 (TEL:078-271-3290)	神戸
13	おやこでBOUSAI(防災)in NADA2020～子どもの命を守るために～	①R3.1.23 ～2.22 ②R3.2.23	神戸市立灘区民 ホール (神戸市)	①プレイベント ・防災クイズラリー ・マイ避難カードを作ろう(家族で話し合いながら避難方法や避難先を検討、ラミネートしたオリジナルカードを作成) ・語り継ぎ「絵本で防災を知ろう」(防災、命、絆をテーマにしたお話を通じて小さな子ども達に防災に興味を持ってもらう) 講師:NPO法人「絵本で子育て」センター講師 ②防災トーク「大震災・あなたは子どもの命を守るか」	なだっこプロジェクト実行委員会	神戸
14	令和2年度三木市自主防災 組織育成研修会	R3.1.24	三木市文化会館 小ホール	・自主防災組織を対象に防災講話 「防災について～これまでの活動経験から」	三木市 総合政策部 危機管理課 (TEL:0794-82-2000)	北播磨
15	いのちを守る防災マップづくり	R3.1.26	犬飼公民館	・自治会での防災マップづくり	丹波篠山市 市民安全課 (TEL:079-552-1116)	丹波
16	ジュニア防災スクール (明石)	R3.1.30	明石市保健所	①防災訓練 ・段ボールトイレ作成・段ボールトイレ作成 ・新聞スリッパ作成 ・防災なぞときゲーム(地震・豪雨災害から身を守れ) ②防災講話 ・「災害の危険性と避難行動について」	東播磨県民局 NPO兵庫県防災士会	東播磨
17	ジュニア防災スクール (加古川)	R3.1.31	加古川市防災センター	①防災訓練 ・段ボールトイレ作成 ・新聞スリッパ作成 ・防災なぞときゲーム(地震・豪雨災害から身を守れ) ・災害非常食の体験 ②防災講話 ・「災害の危険性と避難行動について」	東播磨県民局 NPO兵庫県防災士会	東播磨
18	非常用保存食による給食実施 事業	R3.1月の防災とボランティア週間 期間中	市立小学校等19校	・非常用保存食(アルファ化米)の給食体験 ・防災啓発リーフレット等の配布	姫路市危機管理室 (TEL:079-223-9599)	中播磨

5 防災啓発(12事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	117KOBEぼうさいマスター プロジェクト	R2.4.1 ～R3.3.31	神戸新聞本社会議 室 他 (神戸市)	①ぼうさいワークショップの開催 ・各イベントへの防災ブースの出展。今年度はNPOや企業とも協力 ②第73回新聞大会(R2.11)実施に伴う情報発信プロジェクト ・震災の経験を全国に発信する ③市民救命士講習の実施 ④ぼうさいWEB検定の実施 ⑤神戸市のシェイクアウト訓練、ぼうさい授業の実施 ⑥避難所運営訓練の実施 ⑦有識者や語り部による震災学習 ⑧“みんな”のひまわりHeart!Project	117KOBEぼうさいマスター育成会議	神戸

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
2	コットン・チルドレン__ラボ	R2.6.25 ～R3.2.25	豊富小中学校、旭陽小学校	・個室倉の設立に寄与した河合寸翁が手掛けた姫路木綿を活かした防災用品づくりの勉強会(学習会)を実施(小学生は豊富小学校でオンライン、その他一般市民は自宅でオンライン) ①スタート(R2.6.25) ・防災士による勉強会 ・テーマ「僕たちがやっていること」 ②綿づくり(R2.6.30、7.28、8.25、9.8、10.6、11.5、12.1) ・防災士、ひょうご防災特別推進員による勉強会(R3.1.15) ・テーマ「家にある古い布をつかって、防災用品をつくらう」※制作動画をyoutubeにて放映 ④防災士、ひょうご防災特別推進員、姫路木綿復活の会による発表会(R3.2) ・テーマ「防災用品を使って、避難訓練のプログラムを考えよう」	ひめじ防災ラボ&スタディ	中播磨
3	はらっぱ防災プロジェクト2020～どんな状況でも災害に備え、経験を未来に活かそう～	R2.12.1 ～R3.31	(特非)はらっぱ保育園 他(西宮市)	①地域での活動 ・ぼうさい特別推進員による講演「子どもと家庭の防災(仮)」 ・小児科医講演「子どもの安全と病气」 ・震災時当時の写真、防災グッズの展示、非常食試食 ②園内での活動 ・保育所内での避難訓練を毎月実施 ・仁川百合野町地すべり資料館の見学	特定非営利活動法人はらっぱ	阪神南
4	防災をみんなで考えよう！～つどいの家防災月間～	R2.12.18 ～R3.1.22	サポートステーション灘・つどいの家	①防災展示会(R2.12.18～R3.1.22) ・防災グッズや防災ベストを作成し、展示 ②子ども向け防災イベント(R2.12.25) ・防災ゲームを活用した子供向けワークショップ、クイズ ③鎮魂のつどい(R3.1.15) ・故人を偲ぶ・震災を語り継ぐ時間を設ける ・災害を想定した炊き出し訓練と食事会 ・防災グッズの紹介 ・高齢者の防災のポイントを学ぶ	ふらつとルーム	神戸
5	1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」表彰式	R3.1.10	兵庫県公館(神戸市中央区下山手通4-4-1)	・阪神・淡路大震災の経験と教訓を通して学んだ自然の脅威や生命の尊さ、共に生きることの大切さを考える「防災教育」を推進し、未来に向け安全で安心な社会をつくる一助とする ・全国の児童・生徒・学生・団体(NPO・自主防災組織)が学校や地域において主体的に取り組む「防災教育」に関する先進的な活動を顕彰する	兵庫県・毎日新聞社・公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター(TEL:078-262-5068)	神戸
6	「ひょうご安全の日」但馬地域のつどい	R3.1.13 ～1.22	豊岡総合庁舎	・パネル展示(災害時の様子、防災・減災の取組) ・映像上映(災害発生のメカニズム等) ・フェニックス共済のPR	但馬県民局 総務防災課 (TEL:0796-26-3616)	但馬
7	「ひょうご安全の日」阪神南地域のつどい	R3.1.15	市立潮小学校	・「1.17は忘れない」地域防災訓練 ・パネル展示 ・フェニックス共済のPR 等	阪神南県民センター 県民交流室総務防災課 (TEL:06-6481-8072)	阪神南
8	協定の締結	R3.1.17	危機管理室執務室など	・株式会社スギ薬局と協定を締結 「災害時における物資等の供給協力に関する協定」	姫路市 危機管理室 (TEL:079-223-9593)	中播磨
9	1.17「ひょうご安全の日」のつどいin姫路2021」	R3.1.17	JR姫路駅コンコース内	<防災情報の発信> ・防災啓発パネル・ポスターの展示 ・「防災のしおり」等の資料配布	姫路市NPO法人ネットワーク会議 (事務局TEL:079-224-8803)	中播磨
10	「ひょうご安全の日」北播磨地域のつどい	R3.1.17	イオン社店	・防災活動の啓発パネル展示 ・フェニックス共済のPR・出前受付 ・災害用非常食の配布	北播磨県民局 総務防災課 (TEL:0795-42-9318)	北播磨
11	「ひょうご安全の日」西播磨地域のつどい	R3.1.23	たつの市総合文化会館アクアホール	・1.17ひょうご安全の日宣言の発信 ・防災活動事例発表 ・防災講演会 ・防災展示	西播磨県民局 (TEL:0791-58-2112) たつの市	西播磨

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
12	イザ！美かえる大キャラバン！2021	R3.1.31	JICA関西、人と防災未来センター及び専用ウェブサイト	・「防災・国際・アート」をキーワードに、HAT神戸エリアの関係機関が連携し、阪神・淡路大震災の教訓から生まれた「イザ！カエルキャラバン！」をベースに、防災教育に取り組む行政機関やNPOなどが一同に集結して、防災を楽しく学べる体験プログラムを会場及び専用ウェブサイト上で提供	[共催] JICA関西／人と防災未来センター／兵庫県立美術館／兵庫県国際交流協会 [問い合わせ] JICA関西・国際防災研修センター (TEL:078-261-0386)	神戸

6 防災展示(8事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	人と防災未来センター企画展「7つの質問 withコロナ時代の減災を考える:想い・アイデアを共有しよう!～新しい様式で日々を過ごすために」	R2.10.20 ～R3.3.28	人と防災未来センター西館2階防災未来ギャラリー(有料ゾーン)	withコロナ時代において、私たちの新しい日常の過ごし方に活かすため、人と防災未来センターが設けた7つの質問に対して、想い・願い・知っていること・閃いたアイデアなどを広く募集して紹介するとともに、新型コロナウイルス感染症の最新動向やwithコロナ時代の防災・減災の新しい取り組みをまとめたコラム等を展示する	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター観覧案内 (TEL:078-262-5050)	神戸
2	人と防災未来センター西館展示3Dビュー及びVR映像の公開	R2.11.3～	人と防災未来センターホームページ (http://www.dri.ne.jp/)	コロナ禍により外出を控えている方や来館が困難な方にも西館の展示物を見学していただくため、西館1階から4階の展示フロア内を360度撮影した5G対応3Dビュー&VR(バーチャルリアリティ)映像を制作し人と防災未来センターホームページにおいて公開	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター観覧案内 (TEL:078-262-5050)	神戸
3	震災26年・経験と教訓の継承・リメンバー神戸プロジェクト	R2.11.17 ～R3.3.31	北淡震災記念公園(淡路市)、ウォールギャラリー(神戸市)	①「遺構・神戸の壁が語る影絵展」 ・壁が保存された意義と未来の想いの影絵制作 ②「遺構神戸の壁保存と継承写真展」 ・継承・発展活動を写真で報告 ③「遺構神戸の壁ライトアップ」 ・神戸の壁宣言、淡路高校の生徒やフェニックス合唱団による神戸の壁の歌の合唱、神戸の被災地で集めた鉄筋棒を参加者全員で打ち鳴らす	リメンバー神戸プロジェクト	神戸
4	東北～神戸～九州を繋ぐ写真展～災害弱者の方の防災を考える～	R2.12.1 ～R3.3.31	神戸学生青年センター他(神戸市)	①写真展 ・阪神・淡路大震災、東日本大震災・熊本地震の震災当時の写真の展示し、目から震災を見ることで震災を理解する ②記録集制作 ・震災10年を迎える東北の様子を写真撮影し、災害前後に必要な防災について、高齢者・障害者等にインタビュー調査。調査結果を一冊にまとめ、写真展来場者に配布する	アジア子ども基金	神戸
5	多文化共生・コロナ禍での新しいBOSAI	R2.12.1 ～R3.4.25	JICA関西1F展示室	・コロナ禍で「新しい生活様式」が求められる中、災害が発生した時に私たちはどのように行動すれば良いのか、これまでのBOSAI(防災)に加えコロナ禍における「新しいBOSAI」について紹介 ・日本の災害経験から得たBOSAIの知見や技術が世界でどのように活用されているのかについてや、国籍や文化の異なる人々へ向けた防災啓発についても考える	JICA関西総務課 (TEL:078-261-0346)	神戸
6	人と防災未来センター資料室企画展「災害時の感染症の拡大を防ぐ～過去からの学び」	R2.12.15 ～R3.5.30	人と防災未来センター西館5階資料室(無料ゾーン)	26年前の阪神・淡路大震災の際に、避難所等で流行したインフルエンザ等の感染症の感染状況や、実施された対策について、震災資料・図書資料とともに振り返る	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター西館5階資料室 (TEL:078-262-5058)	神戸
7	ブックフェア「阪神淡路大震災を振り返る」	R3.1.8 ～1.24	西宮市立中央図書館	・阪神淡路大震災に関連する資料や、防災に関連する資料の紹介 ・当時を記録した写真展示	西宮市教育委員会 読書振興課 (TEL:0798-33-2001)	阪神南
8	第11回記念 全国学生防災書道展	R3.1.29 ～1.31	兵庫県民会館、原田の森ギャラリー東館(神戸市)	・防災救命や復興支援、自然災害に関わる文言や表現を題材にした書を各県教育委員会を通じて、全国から公募 ・優秀な防災書道作品約800点を選考し、展示 ・展示会では、文部科学大臣賞、復興大臣賞、県知事賞など表彰式、席上揮毫を実施	全国学生防災書道展実行委員会	神戸

7 防災訓練(18事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	「1.17は忘れない」地域防災訓練	R3.1.15	市立潮小学校ほか	・避難所の開設・運営に資する訓練 ・災害時要配慮者の支援に資する訓練 ・応急救護等災害対応に資する訓練	尼崎市 災害対策課 (TEL:06-6489-6165)	阪神南
2	シェイクアウト訓練	R3.1.15	明石市内全域	・頭を守る安全行動の確認訓練	明石市総合安全対策室 (TEL:078-918-5069)	東播磨
3	令和2年度 東はりま特別支援学校 防災避難訓練(地震)	R3.1.15	兵庫県立東はりま特別支援学校 教室および運動場	・防災避難訓練(地震) ・阪神・淡路大震災追悼	兵庫県立東はりま特別支援学校	東播磨
4	県立いなみ野特別支援学校防災訓練	R3.1.15	県立いなみ野特別支援学校	①防災訓練 ・新聞スリッパ作成 ・防災〇×クイズ ・バケツリレー消火訓練 ・段ボールトイレ作成 ②防災講話 ・「災害の危険性と避難行動について」	県立いなみ野特別支援学校 NPO兵庫県防災士会	東播磨
5	福崎東中学校避難訓練	R3.1.15	福崎町立福崎東中学校	・地震を想定した全校一斉の避難訓練等	福崎町立福崎東中学校 (TEL:0790-22-0208)	中播磨
6	地域自主防災訓練	R3.1.17	すずかけ台コミュニティハウス	・各家庭玄関に安否確認カード掲出、各班長がカードの確認 ・避難経路確認訓練(避難行動要支援者) ・防災に関する講話 ・胸骨圧迫訓練、AED訓練 ・家具転倒防止装置・ブレーカー自動遮断装置展示・説明 ・水消火器訓練、粉末消火器の説明 ・エンジンチェーンソー訓練、防災倉庫の見学 ・段ボールベッド・簡易トイレ設置訓練 ・炊き出し訓練	三田市すずかけ台自治会	阪神北
7	1.17情報伝達訓練	R3.1.17	危機管理室執務室など	・ひめじ防災ネット、姫路ケーブルテレビ、FMGenki、Twitter、Yahoo!防災速報による啓発文の発信 ・衛星電話・FAX、IP無線機を用いた連絡訓練	姫路市危機管理室 (TEL:079-223-9601)	中播磨
8	1.17防災意識高揚つどい	R3.1.17	淡路市一宮地区	・津波を想定した緊急避難訓練	淡路市危機管理課 (TEL:0799-64-2555)	淡路
9	災害時職員対応訓練	R3.1.18	加古川市役所本庁など	・職員安否確認訓練 ・地区支部員参集訓練 ・本庁指定動員者参集訓練 ・災害対策本部設置訓練	加古川市危機管理課 (TEL:079-427-9717)	東播磨
10	田原小学校避難訓練	R3.1.18	福崎町立俵小学校	・地震を想定した全校一斉の避難訓練等	福崎町立田原小学校 (TEL:0790-22-0102)	中播磨
11	八千種小学校避難訓練	R3.1.18	福崎町立八千種小学校	・地震を想定した全校一斉の避難訓練等	福崎町立 八千種小学校 (TEL:0790-22-0207)	中播磨
12	高岡小学校避難訓練	R3.1.18	福崎町立高岡小学校	・地震を想定した全校一斉の避難訓練等	福崎町立高岡小学校 (TEL:0790-22-1113)	中播磨
13	職員災害対応訓練	R2.1.18 (予定)	佐用町役場本庁第1庁舎西館防災会議室	・災害時初動対応訓練 ・情報収集・伝達訓練	佐用町企画防災課 (TEL:0790-82-0664)	西播磨
14	「ひょうご安全の日」丹波地域のつどい	R3.1.20	丹波市立青垣小学校	①地震を想定した避難訓練 ②防災講話 ③「ひょうご安全の日」丹波地域のつどい ・「しあわせ運べるように」鑑賞・安全の日宣言宣誓 ・防災グッズ進呈 ④防災訓練 ・防災クイズ ・自衛隊車両の見学等(パネル・食料・装備品展示、応急担架作成) ・水消火器体験 ・地震体験車訓練 ・警察車両の見学	丹波県民局 総務防災課 (TEL:0795-73-3719)	丹波

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
15	高丘東コミュニティ協議会 防災訓練	R3.1.23	明石市立高丘東小 学校	①防災訓練 ・避難訓練 ・防災まち歩き ・救急救命講習 ②防災講話 ・「災害と避難行動について」	高丘東コミュニティ協議 会 NPO兵庫県防災士会	東播磨
16	高丘西コミュニティ協議会 防災訓練	R3.1.23	明石市立高丘西小 学校	①防災訓練 ・避難訓練 ・防災まち歩き ・災害非常食体験 ・搬送訓練 ②防災講話 ・「災害と避難行動について」	高丘西コミュニティ協議 会 NPO兵庫県防災士会	東播磨
17	福崎小学校避難訓練	日程調整中	福崎町立福崎小学 校	・地震を想定した全校一斉の避難訓練等	福崎町立福崎小学校 (TEL:0790-22-0101)	中播磨
18	福崎西中学校避難訓練	日程調整中	福崎町立福崎西中 学校	・地震を想定した全校一斉の避難訓練等	福崎町立福崎西中学校 (TEL:0790-22-0157)	中播磨

8 コンサート(4事業)

番号	事業名	実施日	実施場所	実施概要	実施主体	地域名
1	第15回震災を忘れないメモ リアルコンサート	R3.1.11	いたみホール中 ホール(伊丹市)	・阪神・淡路大震災を忘れず、メモリアルの思いを来場 者と共有する ・他の合唱団とのジョイント形式での開催。交流を図り ながら多くの災害を自分のこととして捉え考える。 ・ひょうご防災特別推進員による講話	特定非営利活動法人 ええうた工房	阪神北
2	阪神・淡路大震災復興26周 年 新春邦楽コンサート(東 日本震災遺児奨学金義援 チャリティー)	R3.1.17	芦屋市民センター ルナホール (芦屋市)	・芦屋三曲協会(箏、三絃、尺八)が中心となり追悼 曲・邦楽曲を演奏 ・1.17ひょうご安全の日宣言の配付、開会の挨拶で事 業趣旨を説明、防災・減災関係のPRチラシを配布 ・震災遺児奨学金義援の募金活動	新春邦楽コンサート実 行委員会	阪神南
3	1.17鎮魂と語り継ぐために 第21回特別演奏会	R2.1.23	神戸新聞松方ホー ル (神戸市)	・プロの音楽家で構成されるオーケストラが、神戸21世 紀混声合唱団(アマチュア)と共に開催 ・バッハ作曲「マタイ受難曲」全曲の演奏 ・当日、ロビーにおいて段ボールや新聞紙で簡単に 作れる避難グッズの展示、作り方の指導を実施 ・様々な災害の被災者20名を招待	公益社団法人 アンサンブル神戸	神戸
4	PRAY FROM KOBE ~明 日につなげる“ミニ合唱祭” ~	①R3.1.24 ②R3.3.7	①神戸文化ホール ②神戸ハーバーラ ンドumie (神戸市)	①メインコンサート(R3.1.24) ・公募合唱団による演奏(一般35団体、小中高15団 体) ・宮城県会場とリモート中継し、全体合唱を実施 ・防災シンポジウム「コロナウイルス状況下における合 唱で被災地にエールを(仮)」 [講師]兵庫県合唱連盟理事長、宮城県合唱連盟副 理事長 他 ②街頭コンサート(R3.3.7) ・小・中・高校・一般・合唱団の合同演奏、合唱	兵庫県合唱連盟	神戸

「ひょうご安全の日」地域のつどい

資料3

地域	事業名	実施日	参加予定人数	実施場所	実施概要	実施主体
神戸	1.17ひょうごメモリアルウォーク	R3.1.17	700人	須磨海浜公園、神戸常盤アリーナ、市立中央体育館、王子公園	〈防災啓発〉 「メモリアルウォーク2021」において、各スタート地点の企画・運営の実施	神戸県民センター総務防災課 (TEL:078-647-9061)
阪神南	「ひょうご安全の日」 阪神南地域のつどい	R3.1.15	850人	市立潮小学校	〈防災啓発〉 ・「1.17は忘れない」地域防災訓練 ・パネル展示 ・フェニックス共済のPR 等	阪神南県民センター 県民交流室総務防災課 (TEL:06-6481-8072)
阪神北	「ひょうご安全の日」 阪神北地域のつどい	R3.1.11	100人	三田市総合福祉保健センター	〈防災講演〉 防災士の研修会として開催 ・基調講演「(仮題)感染症に対応した避難所運営」 ・防災士会5団体によるパネルディスカッション ・防災士会5団体の活動内容・課題等に関するパネル展示	阪神北県民局 総務防災課 (TEL:0797-83-3124)
東播磨	ジュニア・地域防災スクール (集合型講座)	①R3.1.30 ②R3.1.31	各日30人	①あかし保健所 ②加古川市防災センター	〈防災講話〉 ・動画を活用した防災教室 〈防災訓練〉 ・災害食づくり ・施設見学、体験 ・防災グッズづくり ・防災ナゾトキゲーム	[主催] 東播磨県民局総務防災課 (TEL:079-421-9289) [実施] 兵庫県防災士会 (TEL:090-4903-0188)
北播磨	「ひょうご安全の日」 北播磨地域のつどい	R3.1.17	500人	イオン社店	〈防災啓発〉 ・防災活動の啓発パネル展示 ・フェニックス共済のPR・出前受付 ・災害用非常食の配布	北播磨県民局 総務防災課 (TEL:0795-42-9318)
中播磨	中播磨地域防災講習会 「ひょうご安全の日」中播磨のつどい	R3.1.16	100人	福崎町エルデホール	〈防災講演〉 「コロナ禍における避難所運営を考える」 講師:兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授	中播磨県民センター 総務防災課 (TEL:079-281-9040) 福崎町
西播磨	ひょうご安全の日西播磨地域のつどい	R3.1.23	250人	たつの市総合文化会館 アクアホール	〈防災啓発〉 1. 17ひょうご安全の日宣言の発信 防災活動事例発表 防災講演会 防災展示	西播磨県民局 総務防災課 (TEL:0791-58-2112)
但馬	「ひょうご安全の日」 但馬地域のつどい	R3.1.13 ~R3.1.22	200人	豊岡総合庁舎	〈防災啓発〉 ・パネル展示(災害時の様子、防災・減災の取組) ・映像上映(災害発生時のメカニズム等) ・フェニックス共済のPR	但馬県民局 総務防災課 (TEL:0796-26-3616)
丹波	「ひょうご安全の日」 丹波地域のつどい	R3.1.20	300人	丹波市立青垣小学校	〈防災訓練〉 ①地震を想定した避難訓練 ②防災講話 ③「ひょうご安全の日」丹波地域のつどい ・「しあわせ運べるように」鑑賞 ・安全の日宣言宣誓 ・防災グッズ進呈 ④防災訓練 ・防災クイズ ・自衛隊車両の見学等(パネル・食料・装備品展示、応急担架作成) ・水消火器体験 ・地震体験車訓練 ・警察車両の見学	丹波県民局 総務防災課 (TEL:0795-73-3719)
淡路	「ひょうご安全の日」 淡路地域のつどい	R3.1.17	100人	北淡震災記念公園	〈追悼行事〉 ・主催者、遺族代表等による精霊流し ・犠牲者への黙祷 ・犠牲者への鎮魂の祈りと復興への想いを込めて、来場者と共に全員で合唱 ・主催者、遺族代表等による献花 ・ひょうご安全の日宣言の読み上げ	淡路県民局総務防災課 (TEL:0799-26-2017) 淡路市 株式会社ほくだん